

令和4年度

こびとのもり保育園

— 福祉サービス第三者評価結果報告書 —

有限会社 TCP

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号：機構 06-166)

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 202-0021

所在地 東京都西東京市東伏見3-5-36-101

評価機関名 有限会社 TCP

認証評価機関番号

機構 06 - 166

電話番号 042-452-8021

代表者氏名 鈴木 純平



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	山口 留美子	福祉	H1001014
	②	渡邊 敦子	福祉	H1801083
	③	鈴木 純平	経営	H0701017
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	社会福祉法人 貴静会 こびとのもり保育園			
事業所連絡先	〒	194-0003		
	所在地	東京都町田市小川6-1-32		
	TEL	042-850-5423		
事業所代表者氏名	岡田 ゆう子			
契約日	2022 年 8 月 1 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2022 年 10 月 20 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 2 月 23 日			
自己評価の調査票配付日	2022 年 10 月 20 日			
自己評価結果報告日	2023 年 2 月 23 日			
訪問調査日	2023 年 2 月 24 日			
評価合議日	2023 年 3 月 20 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事前説明には、評価の理解を深めて頂く為、評価の全体像や具体例を用いた判りやすい資料を作成し、コロナ感染症対策を行いながら、職員説明会を実施しました。事業評価においては、自己評価の事実確認に徹し、第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果には、独自開発による集計シートを用い、グラフ・表によるできるかぎりわかりやすいとりまとめを行いました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2023 年 4 月 19 日

事業者代表者氏名 園長 岡田 ゆう子



1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)子ども一人ひとりを大切にし、愛情のこもった保育をする。 2)一人一人の育ちを大切にし、丈夫な身体と豊かな心を育てる。 3)報告、連絡、相談「ほう れん そう」を合言葉に、職員と保護者が連絡を密にする。 4)地域に開かれた保育園として、地域と連携し、子育て支援や交流を深める。 5)職員が充実感を持って働き続けられる保育園。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の気持ちを大切にし、優しさを持って接することができる。 ・人の話をよく聞き、考えの違うことがあることを理解し、相手を受容できる。 ・一人で判断せず、職員同士で協力、相談し合う気持ちを持つ。 ・責任感を持って仕事をする。 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの最善の利益のために力を尽くす。 ・専門職としての誇りと自覚を持ち、仕事に喜びを見出す。 ・常に向上心を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持ち、自己研鑽する。

調査対象

調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答をいただきました。なお、利用者総数(92名)に対して、世帯数は80世帯となっています。

調査方法

園より保護者全員に調査票を配布して頂きました。回収については、評価機関へ郵送して頂くか、もしくは、園内に設置した回収ボックスに登降園時に投函して頂くようにしました。

利用者総数

92

利用者家族総数(世帯)

80

共通評価項目による調査対象者数

80

共通評価項目による調査の有効回答者数

51

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

63.8

利用者調査全体のコメント

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていますか」との質問に対して、「大変満足」56.9%、「満足」43.1%、を全て足すと100.0%の回答率となっており、園に対して全ての回答者が満足している状況がうかがわれます。個別の項目についても「はい」と回答している結果が多く、満足している状況がうかがえました。特に、「子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係はあるか」、「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか」などは、「はい」の回答率が96.1%と満足度が高い結果でした。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	47	4	0	0
この項目では、47人が「はい」と答え、全体の92.2%を占め、「どちらともいえない」が7.8%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、保育園のおかげが大きくゆっくりでもしっかり成長しているなどの声が聞かれました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	46	5	0	0
この項目では、46人が「はい」と答え、全体の90.2%を占め、「どちらともいえない」が9.8%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、保育園で色々な事をやらせてくれるので親でも知らなかった得意な事、苦手な事を見つけることができましたなどの声が聞かれました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	48	1	1	1
この項目では、48人が「はい」と答え、全体の94.1%を占め、「どちらともいえない」が2.0%、「いいえ」が2.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、ふるさと給食や、四季の行事を取り入れた食事があっていいと思いましたなどの声が聞かれました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	43	7	1	0
この項目では、43人が「はい」と答え、全体の84.3%を占め、「どちらともいえない」が13.7%、「いいえ」が2.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、園庭がない分、外に行くことが多いので子どもは楽しみにしていますなどの声が聞かれました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	38	3	0	10
この項目では、38人が「はい」と答え、全体の74.5%を占め、「どちらともいえない」が5.9%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、いつも急な延長保育になってしまうが、捕食も用意して下さり本当に助かっていますなどの声が聞かれました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	44	6	1	0
この項目では、44人が「はい」と答え、全体の86.3%を占め、「どちらともいえない」が11.8%、「いいえ」が2.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、大きな危険を感じる事が(場所)ないと思うなどの声が聞かれました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	45	4	0	2
この項目では、45人が「はい」と答え、全体の88.2%を占め、「どちらともいえない」が7.8%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、コロナ禍の為、行事が少ないことはありますが日程は参加しやすいと思いますなどの声が聞かれました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	49	2	0	0
この項目では、49人が「はい」と答え、全体の96.1%を占め、「どちらともいえない」が3.9%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、毎日のように様子を伝えてくださり、苦手なことや好きなことなど色々と教えてくれるなどの声が聞かれました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	48	3	0	0
この項目では、48人が「はい」と答え、全体の94.1%を占め、「どちらともいえない」が5.9%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、いつもきれいにお掃除されているなどの声が聞かれました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	48	2	1	0
この項目では、48人が「はい」と答え、全体の94.1%を占め、「どちらともいえない」が3.9%、「いいえ」が2.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、先生方の笑顔で元気をもらっていますなどの声が聞かれました。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	49	2	0	0
この項目では、49人が「はい」と答え、全体の96.1%を占め、「どちらともいえない」が3.9%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、小さなケガも伝えてくれて気付いたことを伝えてくれ、きちんと見てくださっているなどの声が聞かれました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	38	4	0	9
この項目では、38人が「はい」と答え、全体の74.5%を占め、「どちらともいえない」が7.8%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、けんかや揉め事があった日には、先生から報告があるし、どのように解決したか、どう声をかけたか教えて下さるのでありがたいですなどの声が聞かれました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	48	3	0	0
この項目では、48人が「はい」と答え、全体の94.1%を占め、「どちらともいえない」が5.9%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、子どもたちの意見を大事に、きちんと取り入れながら活動に活かしてくれていますなどの声が聞かれました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	45	3	1	2
この項目では、45人が「はい」と答え、全体の88.2%を占め、「どちらともいえない」が5.9%、「いいえ」が2.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、知られたくないと思うことがあまりありませんが、そのようなことがあれば、守られる先生方だと感じていますなどの声が聞かれました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	44	5	0	2
この項目では、44人が「はい」と答え、全体の86.3%を占め、「どちらともいえない」が9.8%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、必ず説明してくれて、共感できる内容でわかりやすいですなどの声が聞かれました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	37	4	1	9
この項目では、37人が「はい」と答え、全体の72.5%を占め、「どちらともいえない」が7.8%、「いいえ」が2.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、特に不満に思ったことはないなどの声が聞かれました。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	26	8	2	15
この項目では、26人が「はい」と答え、全体の51.0%を占め、「どちらともいえない」が15.7%、「いいえ」が3.9%という結果でした。また、自由記入の結果では、必要があれば伝えてくれると思いますが今までそのような相談をしたことがないなどの声が聞かれました。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当
	カテゴリー1の講評	
	<p>理念や目標等を掲げ、動画やイメージ等を活用し、分かりやすく方向性を示しています</p> <p>保育理念、方針等に基づき、園の目標等を掲げ、目指すべき方向性を示しています。理念や方針、目標等は、入園のしおりやパンフレットへの記載、玄関ホールへの掲示、ホームページへの掲載などにより職員や保護者等へ周知しています。ホームページでは、保育目標のイメージ「4つのやくそく」や、動画による保育園紹介など、視覚的に分かりやすく、方向性を示しています。保護者には、2部制で人数制限による入園説明会や、事前の資料配付とオンラインによる保護者会などで、コロナ感染症対策などの工夫をしながら、丁寧に説明して理解を深めています。</p> <p>経営層は、方向性に沿って最終判断や決定を行うよう、リーダーシップを発揮しています</p> <p>経営層の役割や責任については、組織図や業務分担表などで組織体制を明確化しています。職務分担表では園長、主任保育士、副主任等の職務・業務内容が示され、行動指針となっています。また、保育理念や園目標をどのようにとらえるか、園内研修を通して実践に活かせるよう取り組んでいます。職員会議等では、理念・目標等の運営の方向性を示し、職員間の共通理解を図っています。さらに、経営層は、職員一人ひとりが自ら考えた様々な意見を取り入れ、方向性に沿って最終判断や決定を行うように、役割と責任に基づきリーダーシップを発揮しています。</p> <p>各種会議を設定し、それぞれ話し合いや検討を行い職員会議で決定、報告しています</p> <p>会議体系は、職員会議、リーダー会議、乳児・幼児会議等が設定され、就業規則に基づく意思決定がなされています。重要な案件等は、各種会議での検討を踏まえ、職員会議等で決定するものとなっています。決定内容や経緯等は、職員会議や昼ミーティングでの報告・伝達を行い、会議録やミーティングノートの確認などにより、職員全員に周知しています。非常勤職員等には、会議録やノートの確認やクラス代表からの口頭による伝達等により周知しています。保護者には、お知らせ文書の掲示や配布、ICTによる配信、緊急メール連絡等で周知しています。</p>	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>利用者や職員の意向、地域情報等を収集・把握し、園運営や子育て支援に活かしています</p> <p>利用者の意向は、行事や懇談会後のアンケート、意見箱の設置、第三者評価受審時の利用者調査などにより、情報を収集しています。収集した意見や要望等は、集計してとりまとめ、内容の把握・検討を行い対応しています。職員の意向は、年3回および随時のヒアリング、会議での意見、日常の相談等を通じて把握しています。また、保育園の見学者、地域の子育て広場会議やネットワーク会議への参加等を通じて、保育や子育て支援のニーズが高いなど、地域の情報を収集しています。これら収集・把握した情報を園運営や地域の子育て支援に活かしています。</p> <p>理念・目標に向けた法人の中期計画を踏まえ、保育園の事業計画が作成されています</p> <p>法人として、理念・方針の実現に向けた中期計画(5ヶ年)が策定され、保育園の方向性が示されています。園では、法人の中期計画を踏まえ、前年度の評価・反省や利用者アンケート結果等を基に単年度の事業計画が作成され、施設運営、施設管理、地域社会との連携などの項目について方向性が示されています。また、事業計画は、職員からの意見等を踏まえとりまとめ、作成し、周知しています。計画については、年度当初に予算編成がなされ、担当者が資金収支予算書等に基づき定期的に確認しながら、適切な執行を心がけています。</p> <p>行事や保育、事業計画等の推進に向けて、定期的な評価・反省、振り返りを行っています</p> <p>計画の推進に向けて、行事等の短期的な活動では、担当者を中心に進められ、職員会議等で全体の評価、反省が行われています。日常保育では、年間および月間指導計画等に基づき、定期的に評価・反省・見直しが行われ、計画の推進に取り組んでいます。また、単年度の事業計画においては、職員が作成する目標共有シートに基づく目標設定と評価、反省が行われており、職員一人ひとり年度目標と連動した達成状況の確認がなされています。さらに、年度末には評価・反省および課題抽出等を行い、事業報告のとりまとめと次年度の計画に活かしています。</p>		

3 経営における社会的責任			カテゴリ-3
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

倫理や規範、法令遵守等は、規程等の整備や研修の機会を通じて、周知しています

保育に従事する職員として守るべき規範、倫理等は、保育の手引き(職員の心得、保育の心得)等に明示し、日常保育を通じて心がけています。また、全国保育士倫理綱領、児童憲章読み合わせを行い、理解を深めています。新人研修の実施、倫理研修への参加を通じて、適宜、職員の学びと周知が図られています。苦情解決等は、苦情解決体制の整備、第三者委員の設置などを行い、入園のしおりへの記載や入園説明会、園内への掲示等で周知しています。保護者の意向は、送迎時のコミュニケーション、連絡帳等を通じて収集・把握に努めています。

子どもの人権擁護のチェックリストを活用し、振り返りの機会を設け理解を深めています

子どもの気持ちを傷つけない取り組みとして、日常の保育や会議の場面で、適切な対応や言葉がけを行えるように確認しています。また、園内研修では、適切な対応、言葉がけを行えるよう、職員全体の学びに取り組んでいます。さらに、子どもの人権擁護のためのセルフチェックリストを活用した振り返りやチェック後の話し合い、人権研修への参加などを通じて、職員意識と理解の向上を図っています。虐待防止に向けては、虐待防止マニュアルを整備し、発見や情報を得た場合は、子ども家庭支援センター等、地域の関係機関と連携が図れる体制を整えています。

地域に向けた情報発信の向上や育児支援室などを通じて、地域貢献に努めています

地域社会に対して、ホームページやパンフレット、地域向け掲示板等で、広く情報発信しています。ホームページでは、動画による保育園紹介を行うなど、コロナ禍においても情報発信の向上に努めています。地域に開かれた保育園として、コロナ感染症の状況を踏まえながら、実習生やちびっこ先生(卒園児)、社会体験研修などの受け入れ等に取り組んでいます。地域の子育て支援では、地域の子育て広場会議やネットワーク会議への参加、近隣保育園との交流、育児支援室の実施、離乳食講座、手あそび玩具制作など、地域貢献に努めています。

4 カテゴリー4		
4 リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	
カテゴリー4の講評		
<p>マニュアル整備や訓練の実施、季節や地域特性へのリスク対応等が行われています</p> <p>園運営におけるリスクに対して、事故対応・防災対応・感染症・不審者対応・散歩・バス使用等のマニュアル整備や避難訓練等を実施しています。毎月の避難訓練では、様々な場面の想定や、消防署が関わる専門的な訓練の機会等もあり、危機管理意識の向上を図っています。また、プール前の安全点検や救命救急、熱中症対策、嘔吐処理講習、水難事故訓練、不審者対応など、季節や地域に応じたリスクマネジメントにも取り組んでいます。コロナ感染症に対しては、手洗いや消毒、換気の徹底など、園としてガイドラインに準拠した適切な対応がなされています。</p> <p>事故報告やヒヤリハット等の要因分析や改善策の検討を行い、再発防止等に努めています</p> <p>大規模災害等に対して、町田市を中心に作成を進め、事業継続計画(BCP)の整備がなされています。事業継続計画に基づき、防災対応マニュアルを整備し、日常の保育における具体的な実践への検討が進められています。今後はさらに、事業継続計画の確認・向上を図り、大規模災害発生後の業務の復旧・再開に向けた取り組みを職員や利用者等に周知していくことが期待されます。事故・怪我等は、日常的に事故報告やヒヤリハットに取り組み、気づきや事故発生の情報収集を行い、要因分析や改善策の検討等、再発防止・事故予防に努めています。</p> <p>情報に関しての保管、管理、利用等を明確にし、適切な対応がなされています</p> <p>個人情報等の取り扱いについて、個人情報保護規程で利用の目的や目的以外の制限、管理体制などが明確化され、ボランティアや非常勤職員等を含めて口頭や書類配布等により周知しています。児童票、保育関係資料などの重要文書は、施錠できる書庫で保管し外部への持ち出しを禁止し、文書管理規定に基づき定期的な更新がなされています。情報等のセキュリティ管理は、ICTシステムによる情報管理、パソコンのアクセス権限の設定、写真の販売委託などがなされています。情報の開示請求については、規程に基づき適切に対応できる体制を整えています。</p>		

5 職員と組織の能力向上			12/12
サブカテゴリ-1(5-1)			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる			12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賞金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)			3/3
組織力の向上に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

職員の意向等を把握し、園運営全体のバランスを考え適材適所に配置しています

職員の採用は、規程に基づきながら、ホームページ、ハローワーク、人材紹介会社との契約等を行い、系列園と連携しながら、必要とする人材の確保に努めています。人材構成については、幅広い年齢層や男性職員がおり、バランスの取れた体制を確保しています。また、法人のビジョンに基づき、人事異動による様々な経験と幅広い知識の習得に努めています。園内の人員配置は、年3回および必要に応じたヒアリングや目標共有シート等で職員の意向を把握し、経験年数や能力など、園運営全体のバランス等を考え、適材適所の人員配置を行っています。

目標共有シートによる職員の目標設定に基づく育成計画が作成されています

園が求める人材像については、就業規則により方針が示されています。また、職員一人ひとりが目標共有シートに基づきキャリアプランを描き目標の達成に向かって取り組んでいます。職員の長期展望(キャリアパス)については、処遇改善に基づいたキャリアパスの研修受講と専門性の向上に取り組んでいます。さらに、人材の育成については、保育士等キャリアアップ研修計画等が作成され、法人や園内、園外等の研修に参加しています。研修参加後は、報告書の提出により職員の能力向上と成果の確認がなされています。

職員自らがテーマを設定した園内研修を実施し、学びと組織の能力向上を図っています

職員の育成・評価と処遇については、就業規則に基づき行われ、給与規程や人事規程等を設けています。就業状況は、タイムカードや出勤簿による勤務管理、職員間での調整や声掛けなどによる有給休暇取得の取り組みなど、健康で安心して働ける職場づくりに努めています。園内研修では、自己課題を明確化し、職員自らが企画し「保育の向上について」をテーマに設定し学び合い、能力と資質の向上を図っています。さらに、プロジェクトチームでは、園全体の課題を検討し、目標達成に向けた計画的な取り組みがなされ、組織力の向上に努めています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

研修対象を広げることで、園全体の保育士の専門職としての質の向上を図るため、「キャリアアップ研修の対象を広げ専門職としての知識を深め、意欲的に職務に取り組む」を目標に設定し、取り組んでいます。

設定した目標に対して具体的に、経験年数や時短・固定勤務など、キャリアアップ研修の対象外の職員にも受講できるようにするなどに取り組んでいます。

取り組みの結果、・受講していない職員がいなくなり専門職としての知識が深まった、・職員の意識が変わり、研修の重要性をそれぞれが認識した、・子どもに対する理解が深まった、・子どもに対しての言葉がけに向上がみられた、などの成果が得られました。

振り返り(検証)結果では、キャリアアップ研修をある程度受講した職員がキャリアアップ研修以外の本人の課題や目標に沿った外部研修を受講するなど、今後の必要と捉え、次年度の計画に反映しています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

保育園運営において、人材育成や保育実践の重要課題について、園全体の保育士の専門職としての質の向上を図るため、「キャリアアップ研修の対象を広げ専門職としての知識を深め、意欲的に職務に取り組む」を目標に設定して、改善に向けた計画が立てられています

目標の達成に向けて、キャリアアップ研修対象外の職員を中心に一年間を通して、キャリアアップ研修を受講できるようにするなど、具体的な内容を示し計画的な取り組みがなされています。

取り組みの結果では、・専門職としての知識が深まった、・職員の意識が変わり研修の重要性を認識した、・子どもに対する理解が深まった、・子どもに対しての言葉がけに向上がみられた、などの成果が把握され、設定した目標に対して、ほぼ達成できたと評価されています。

振り返り(検証)結果では、継続的な取り組み加え、キャリアアップ研修を受講した職員に対して具体的な内容を設定し、次年度の計画への反映がなされています。

組織運営としてのPDCAサイクルの取り組みが進められています。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

子ども一人ひとりを大切にするという保育理念を達成するために、子どもの人権について学ぶこととし、「子どもの人権についての園内研修を行い一人ひとりがセルフチェックを行う」を目標に設定し、取り組んでいます。

設定した目標に対して具体的に、①子どもの人権についてセルフチェックを行う、②セルフチェックにより自分自身の保育の振り返る、③具体的にどのような場面やどのような言葉がけなのかを考える、④他人事ではなく自分自身が気をつけていく事を意識する、などに取り組んでいます。

取り組みの結果、・自分の保育を振り返ることができた、・子どもの人権について意識するようになった、・知識や規範意識が高まった、などの成果が得られました。一方で、保育実践の中で声掛け、言葉がけで多少出来ていない状況も見られたなどの課題もうかがわれました。振り返り(検証)結果では、不適切な保育について事例検証や考える機会を持ち、保育理念や、保護者、地域から信頼される保育を目指すなど、今後の必要性を捉え、次年度の計画に反映しています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

保育園運営において、保育理念の達成に向けた取り組みについて、子どもの人権について学ぶこととし、「子どもの人権についての園内研修を行い一人ひとりがセルフチェックを行う」を目標に設定して、目指す方向性に向けた計画が立てられています

目標の達成に向けて、職員全員が一年間の園内研修を通じて、・子どもの人権についてセルフチェックを行う、・自分自身の保育の振り返る、・他人事ではなく自分自身が気をつけていく事を意識するなど、具体的な内容を示し、計画的な取り組みがなされています。

取り組みの結果では、・職員の意識や日常の保育実践の取り組みから、・自分の保育を振り返ることができた、・子どもの人権について意識するようになった、・知識や規範意識が高まった、などの成果が把握され、設定した目標に対して、ある程度達成できたと評価されています。一方で、実際の保育実践の中で、多少の課題意識も伺われています。

振り返り(検証)結果では、継続的な取り組み加え、不適切な保育についての事例検証や考える機会など、具体的な内容を設定し、次年度の計画への反映がなされています。

組織運営としてのPDCAサイクルの取り組みが進められています。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の実望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>園の情報は、ホームページやリーフレットなどを通じてわかりやすく提供しています</p> <p>利用希望者に対しては、ホームページやリーフレットなどを通じて、園の情報を提供しています。園のホームページには、全体的な計画にも記載されている保育目標をはじめ、年間行事、一日の流れなどの各種情報を掲載し、わかりやすい情報提供を心がけています。また、子どもたちの活動の写真や、園舎内を動画にて紹介しています。さらに、市のホームページとリンクし、園の情報・子育て支援の情報を「子育てひろば」とリンクして情報を提供しています。園見学時にも配布する園のリーフレットからも同様の情報を得る事が出来ます。</p> <p>市の園長会や関係機関との情報交換を通じて、地域の保育ニーズを集約しています</p> <p>市の園長会、南地域連絡会、子育てネットワーク会議など行政の関係機関と、園の空き情報、子育て世代の家庭の状況など情報交換を通じて、地域の保育福祉の動向や保育ニーズを把握しています。また、身近な保育園が、在宅で子育てをしている家庭のパートナーとして、さまざまな子育て支援を行うことを目的とした市の子育て支援事業「マイ保育園」に参加し、地域の子育て世代のサポートに力を入れています。また、園の掲示板には地域に向けて園の子育ての取り組みを掲示して園を身近に感じてもらえるように努めています。</p> <p>見学者が安心して園を利用できるように、丁寧な説明に努めています</p> <p>園見学は見学希望者の都合に合わせて随時対応しています。見学時間は基本11:00～と11:30分からの2枠、各枠3組までのとして子どもとの接触を控えて園の様子を見てもらっています。見学時は(園のパンフレット)、(マイ保育園のお知らせ)、(見学の方からよくある質問)、(職員の手作りのおもちゃ)を一つのセットとして渡して、主任、副主任、フリーの職員が園の保育の特徴や、大切にしている事、一時保育、園の子育て支援事業(こびとひろば)について説明をしながら園見学を行い利用時の安心につなげています。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー2の講評			
<p>説明会や入園面談を実施し、保護者に重要事項を説明しています</p> <p>入園が決定した家庭には「入園説明会」「個人面談」「健康診断」を実施しています。入園説明会では園長が入園のしおり、在園のしおりに沿ってパワーポイントを用いて視覚的に伝わりやすいように工夫して、園の目標、園のルール、個人情報の取り扱い、スポーツ振興センターの加入などについて説明し、個人情報の取り扱い、スポーツ振興センターの加入について同意書をいただいています。その後の面談では保護者の意向、短時間保育の予定を園長が確認し、子どものアレルギーや、既往症など必要に応じて看護師、栄養士が対応しています。</p> <p>子どもが新しい環境に馴染める為の短縮保育を実施しています</p> <p>子どもや保護者の新しい環境におけるストレスを軽減するために、短縮保育を実施しています。短縮保育の期間は、保護者の就労状況や子どもの集団保育の経験の有無など配慮して、入園面談時に設定しています。短縮保育の期間は、概ね3日～1週間程度に設定し無理のないように個別に進めています。職員は子どもとの愛着や保護者の安心感につながるよう、クラス全体で子どもの園での生活を見守っています。そして、保護者にはその日の、食事、排泄、午睡などの様子を細かく伝えて園と保護者で子どもの状況を共有できるように努めています。</p> <p>卒園後も子どもの見守りを継続できるように保育体験を実施しています</p> <p>途中で転園等をする子どもには、クラスごとにお別れ会をするなどして園生活が楽しい思い出になるように工夫しています。コロナ禍下で実施が難しい取り組みもありましたが、夏に行うおまつりごっこには、卒園した1年生を招待して在園児、職員と交流する機会を作っています。さらに、卒園児には小学校4～6年生にハガキを出して、夏休みにちびっこ先生として保育体験ができるようお誘いをしています。園は、子どもが「自分を受け頼れる場所」があることを感じ、卒園後も見守られ、認められていることが感じられるように支援をしています。</p>			

サブカテゴリー3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 12/12

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(00)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(00)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

全体的な計画や、子どもの様子を踏まえた各指導計画を作成しています

全体的な計画は、保育理念を基に作成し、養護及び教育分野における年齢ごとの保育過程を明示しています。年間指導計画及び月案は、全体的な計画に基づき、各領域のバランスを考慮して作成しています。週日案については、子どもの興味や関心を重視し、子どもの主体性をはぐくむことを保育活動を取り入れるように工夫しています。制作活動等は、子どもが興味をもったものを自由に考えて制作できるようにしています。職員は、子どものやってみようという気持ちを大切に、形にできるように少しだけヒントを出すなどの支援をしています。

個別の指導計画を作成し、子どもが園生活を快適に過ごせるよう配慮しています

0～2歳児・3歳以上の配慮が必要な子どもについては個別の指導計画を作成しています。また、3歳児は期ごと、4.5歳児は半年ごとに経個別の過記録を用いて子どもの心身の発達について把握できるように努めています。各、指導計画は一人ひとりにふさわしい目標を設定し、自己肯定感をもって園生活を楽しめるよう配慮しています。個別の配慮が必要なトイレトレーニング、離乳食などは、職員が保護者と連携して進めています。また支援が必要な子どもの発達過程や保護者に関する情報については、専門機関の情報を収集し保育に取り入れています。

職員は各会議、ノートを活用して子どもの情報を共有できるように努めています

子どもにかかわる情報は、クラスミーティング、乳児及び幼児会議や昼礼などを通じて共有し、日常の保育活動に反映しています。そして、土曜保育、延長保育においても、子ども一人ひとりへの適切な対応ができるように体制を整えています。昼礼における連絡及び報告内容については専用のノートに記載し、クラスごとの「毎日メモ」には、保護者への伝言や前日の記載事項が記録されています。職員は出勤時にこれらを確認して情報を共有し、職員間、保護者への連絡等の漏れがないように努めています。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>子どものプライバシーや羞恥心に配慮した、保育環境を設定しています</p> <p>個人情報の取り扱いについては、「入園説明会」において、入園のしおりを基に主たる3点について説明をしています。そして、同意者ももらっています。子どもの羞恥心、プライバシーに配慮して着替えは、室内でカーテンを閉めて行い、外からの視線を遮るようにしています。トイレには年齢に応じてドアを設置し、おもらしの着替えは他児の目につかないように手早く行うようにしています。また、おむつ替えのスペースを設けるなど環境の設定をしています。また、絵本と用いてプライベートゾーン等について念理恵に応じてわかりやすく伝えていきます。</p> <p>家庭、子ども一人ひとりの人権を大切に、保育を実施しています</p> <p>子育てにおける保護者の意向や家庭での生活習慣については、入園面談時に聞き取りをしています。保育においては、保護者の意向を大切に、園と保護者とともに子育てをして行くことで保護者との信頼関係を深めています。また、子どもが主体性をもって考え行動できるよう、子どもの気持ちに寄り添い、肯定的な言葉で子どもの言葉や行動を受け止めるように配慮しています。職員は、18項目の「子どもの人権を尊重した保育チェック表」を通じて、子どもの自己肯定感や人権を傷つけるような不適切な言葉がけや対応に関する振り返りを行っています。</p> <p>「虐待防止マニュアル」や研修を通じて、職員の虐待防止に対する意識を高めています</p> <p>「虐待防止マニュアル」や外部研修を通じて、職員の虐待防止に対する意識を高めています。子どもの家庭での状況については、個人面談や送迎時の対話を通じて把握し、職員間で共有しています。特に、登園時の視診を通じて、子どもの体の異変などを観察し、気になることについては保護者に確認するように努めています。虐待が疑われる場合の対応については、園長に報告し関係機関と連携して対応する体制及び手順を周知しています。面談においては、保護者の気持ちに寄り添った言葉がけに努め、保護者への適切な対応を図るように心がけています。</p>		

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>保育の水準化を図るために各種マニュアルを整備しています 就業規則、保育の手引きとともに、保健マニュアル、アレルギー対応マニュアル、感染症マニュアル、防災マニュアル、個人情報保護規程、苦情対応規程や、虐待防止、土曜保育、延長保育に関するマニュアル等を整備して、事務所に設置しています。保育の職員は入職時にマニュアルで園の保育理念や保育方針を理解し、保育業務につなげています。マニュアルの見直しは、年1回読み合わせをして内容が自園にあったものか検討し、アレルギー対応、AED、吐物処理、手洗い指導などは園内研修を実施して、対応の徹底を図っています。</p> <p>職員の意識がマニュアルに沿って統一できるようにチェック表等を用いて確認しています マニュアルに基づいた適切な対応ができるよう、フローチャートやチェックリスト形式を取り入れて、視覚的にもわかりやすい工夫をしています。保育の質の水準を確保するために、訓練の後や行事ごとの振り返りを参考に、課題を把握して次回に生かせるように努めています。日々の保育の中では乳幼児突然死症候群を未然に防止するための午睡チェック表、園庭や設備の安全を確認するチェック表などを使用し、適切な対応の確認ができるようにしています。職員は何か疑問を持った場合はマニュアルの確認、日常のOJTを通じて確認しています。</p> <p>保護者要望、職員の気づきを園のサービス向上に繋げられるよう取り組んでいます 日々の職員の気づきや反省、行事や指導計画ごとの評価、反省を反映させ、職員会議にて現状や改善点の報告、検討を行っています。また、改善が必要な事項についてはプロジェクトを作り職員が主体的に取り組んでいます。子どもは、子どもの興味・関心先をみて指導計画に繋げています。保護者の意見要望は、行事ごとのアンケート、面談、連絡帳など日々のやり取りの中から把握しています。園でできる事は早急に対応に努め、園と保護者の要望に違いが見られる時には紙面で回答をして、園の取り組みを理解してもらえるように努めています。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(000000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもひとりの状況に見合った環境で主体性を育んでいます</p> <p>子ども一人ひとりの発達の推移等は、児童票や健康カードから把握し、年齢ごとに定期的に発達記録に記録しています。入園時の面接で得た入園までの生活状況表から子どもの状況を把握して保育を行っています。子どもの主体性が行かせるように子ども自身がおもちゃや、園本を選びやすいように年齢、発達に見合った保育室の環境を整え、子どもがおちついて遊び等に集中できるコーナーを部屋に作ったり、や制作などを楽しめる机上コーナーも設けています。遊びの内容によっては廊下を使うなど子どもが遊びへの満足が得られるように工夫しています。</p> <p>統合保育を実施して、子どもの心の育ちを促しています</p> <p>園ではその子どものできる事、育つ部分を大切に必要に応じた支援をし、職員は障害に関する研修に参加し障害への理解を深めています。そして、障害のある子どもが集団行動での約束を通じて協調性を身に付けられるようになり、障がいのない子どもが、思いやりを持ち自分がどうしたら一緒に楽しめるだろう、お互いを認め相互理解ができる力が育まれるように支援に努めています。障害を持つ子どもには個別の指導計画が作成され専門機関からのアドバイス、保護者からの情報を参考にして、職員間で情報を共有して見守りをしています。</p> <p>子ども同士のトラブルは、子どもの気持ちに共感して対応しています</p> <p>0～2歳児のかみつきやひっかきなどのトラブルについては、未然に防ぐための言葉がけをするだけではなく、トラブルが起きる原因となるおもちゃの数、職員配置などを工夫しています。また、自分の気持ちをある程度伝えられる年齢の子ども同士のトラブルにおいては、できるだけ大人同士で解決できるようにしています。職員は、子どもの気持ちを肯定的に受け止めて、危険の無いように見守っています。トラブルやけがなどの内容については、ヒヤリハット等に記載し職員間で内容を共有し、再発防止に努めています。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

送迎時は保護者との子どもの情報を共有して対応に努めています

送迎時は保護者との丁寧な対応を心がけています。登園時には視診をして保護者から連絡帳を確認し、子どもの健康状態や家庭での様子を聞いています。そして受け入れ時の子どもの情報、保護者からの伝言、特記事項は「毎日メモ」に記載して、体調管理なども担任以外の職員間でも周知できるように努めています。0～2歳児クラスは連絡ノートに食事・睡眠・排せつや家庭や園での様子を毎日記載し幼児は必要時にシール帳に記載して家庭との情報共有が図れるようしています。

子どもに基本的な生活習慣が身に付くように、個々の育ちに合わせて対応しています

個別の対応が必要な離乳食やトイレトレーニングについては、保護者の意向や子どもの育ちの状態に合わせて個別に対応して、子どもの進行状況を、職員間で共有しています。計画は、月、週案で具体的な支援を計画し、排泄、着替え、片づけなどは、子どもの意欲を大切にしたい時にはほめて、子ども自身ができたことを喜び、次も頑張ろうという意欲に繋がるように支援しています。手洗い、うがいなどの生活習慣の大切さについては、担任や、看護師が指導しています。また、イラストなどを用いて視覚的に伝わりやすいように工夫しています。

年齢、体調に応じた午睡を設けて子どもの生活リズムを整えられるようになっています

日々の活動は、静と動のメリハリをもって過ごせるように努めています。0歳児は家庭との連続性を大切にして午前寝のほか、子どもの様子に合わせて休息を設けています。眠れない子どもには強制していませんが、体を休めることも大切であることを伝え静かにすることを促しています。午睡に入る前には本の読みかかせをするなどして、子どもがリラックス出来る環境を作っています。5歳児は午睡時間を短縮して、就学へのリズムを整えるように努めていますが、子どもの体調や、活動内容に応じて体を休める時間を設けています。

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようになっている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがぎまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもの興味関心を遊びに取り入れ主体性が発揮できる環境を整えています

職員は、子どもが関心を持っている事や、遊びでブームになっている事など興味を先を見逃さないようにして、日々の保育に取り入れ、子どもたちの自主性や自発性を発揮できるように工夫しています。おもちゃ類は、子どもが取りやすい場所に置いて、年齢に応じた遊びや自分で考えた遊びが発展できるよう支援しています。また、廃材を用意して、製作物は日をまたいで継続できるように棚に置いてあります。職員は、子ども自身が自分で考え、工夫をして遊びこめるようなコーナー、遊具を用意して、子どもたちの創造力がはぐくまれるように努めています。

言葉でのコミュニケーションを図り、自分の気持ちを伝える機会を設けています

日々の保育の中で、子どもたちが言葉で伝え合うことを実践しています。絵本の読み聞かせでは、読んだり話したりする時のリズムや雰囲気、言葉の楽しさや話を集中して聞く意識が持てるように工夫しています。朝の会、帰りの会では行事などクラス全体で内容を考える事、相談をする事などがあり、子どもたちは人前で自分の意見を発言したり、他人に自分の気持ちを伝える事、人の話を聞くことなどを経験し、自分のことだけではなく、人のことも考える気持ちをはぐくんでいます。

戸外遊びを通じて、様々な体験ができるように配慮しています

毎日の散歩やバス散歩で自然に触れあうことが多く取り入れています。また散歩先で見つけた、木の実や枯れ葉などを季節の作品に取り入れて四季を身近に感じる機会にしています。また、見つけた草花や虫を園に帰ってから図鑑で調べて飼育をしたりすることで、自然物への興味をたかめています。また、散歩では交通ルール体験知識を得ています。園外であそぶ時には、遊具を順番に使う事や、危険を回避するための約束を確認し日常の保育を通じて、物事にルールがある事、決まりを守る事の大切さを伝えています。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

行事は子どもが興味を持って取り組めるように日々の体験を生かせるようにしています

行事は子どもたちが意欲を持って取り組めるように、日々の保育活動の中で子どもが好きなもの、得意なものを取り入れています。職員が子どもに行事を提供するのではなく、子ども同士が話し合ったり、～をしてみたいと思う気持ちを形にできるように支援しています。日々の遊びの中で大きなカブをテーマに自分の好きな野菜を選んで活動に取り入れたり、妖怪がブームのクラスは自分たちで本を見て調べ、こびとフェスタでは劇遊びにつなげました。子どもが興味を持ったことがより発展できるように職員は支援をしています。

行事や遊びにおいては、子どもたちが協力してやり遂げることを楽しんでます

全体的な計画の中の年齢ごとの保育目標は、幼児になると、友だちとの関り、集団との関りを大切にしています。子どもの興味の先を見てクラスごとにテーマを決めて、子どもたちの意見を取り入れて行事に繋げています。こびとフェスタ(発表会)では、それぞれのクラスが劇遊び、歌、ダンスなどを披露し仲間と一緒に一つの目標に向かって練習し達成感を味わっています。また、年長児の交流のドッジボール大会では体育の時間や外遊びの時間にクラスの仲間と一緒に目的を持ち協力して練習にはげました。

行事を通じて子どもの成長を知ってもらえるように、園行事へのお誘いをしています

行事は、入園のしおり、園のパンフレットなどで年度はじめに伝えていきます。保護者が参加しやすい時期や曜日・時間を考慮して行い、年間行事予定は、保護者会でも行事の内容を説明して、参加の協力をお願いしています。子どもたちの、行事への取り組みは、連絡帳や、クラスのホワイトボードで伝えて、保護者にも楽しみにしてもらえるように配慮しています。行事後はアンケートを取り意見、感想を参考に次の行事に繋がれるように工夫しています。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

子どもがリラックスして過ごせるように環境に配慮しています

全体的な計画に、「長時間にわたる保育」の項目があり、長時間の子どもと一緒に過ごすことを踏まえ、一人ひとりの生活を見通したうえで、活動と休息、緊張と、開放感の調和を図り子どもの安心、安定した環境を作るとあります。子どもが家庭と同じように体を休めたいときにはマットのある場所などで体を横にすることができ、子どもたちのストレス軽減に繋がっています。日々の活動は静と動のメリハリをつけて、延長時は自分が好きな遊びに集中できるように配慮しています。職員はスキンシップを取り入れたり、1対1での関わりも大切にしています。

子どもが安心して過ごせるように職員が支援をしています

延長保育はいつもと違った遊具を使ったり、家庭的な雰囲気の中で安全に配慮してゆったり過ごせるようにしています。保護者のお迎えの時は、各クラスの毎日メモを確認し連絡があれば伝え、子どもの様子も伝えていきます。お迎えが18:15以降にある子どもには補食を用意し、19:00以降の子どもには夕食を提供しています。保護者からの連絡事項は毎日メモに記載して翌日の早番の担当者に引き継いでいきます。園では意図的に異年齢の交流の場を設け、年上の子どもが年下の子どものお世話をするなど異年齢の触れあいが見られています。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもに安心、安全な素材の給食を提供しています

給食は、季節の素材を生かしたバラエティー豊かなメニューを提供しています。また、行事にちなんだ食事を提供し、子どもたちが行事の内容や食材に関心を持てるようにしています。感染症拡大防止のために、テーブルの配置、子どもの座る位置などに配慮し、パーティションを用いるなどして安全が保てるように配慮しています。食事においては、完食を強制せず、子どもたちがいろいろな食材を食べられるように配慮しています。誕生日会の日には特別メニューとしておやつに生クリーム仕立ての物を用意するなど特別感をもてるように工夫しています

アレルギー疾患のある子どもへの対応をして、楽しい食事を提供しています

アレルギーを持つ子どもは、医師の生活管理指導表に沿って除去食を提供しています。毎月個別のアレルギー献立表を保護者に渡し確認してもらい、提供するときは名札を置いたトレイに配膳し、給食室とクラスの担当者は献立表を確認し、クラス内では職員同士で確認の徹底をし、他児と席を別にするなど誤配食防止に努めています。行事食は他児と同じ内容にしています。また、離乳食については子どもの咀嚼の状況などを保護者と共有して育ちにあった形状で提供しています。給食のサンプル掲示をして保護者にも園の食事編取り組みを知らせています。

子どもが、栽培などを通じて食に関心を持てるように努めています

年間の食育計画を作成し、年間、月目標を定め様々な取り組みで子どもたちに食の大切さ、食への興味関心を持てるようにしています。今年は、コロナ禍で調理体験の制限が多く実施が難しい部分もありましたが、味噌づくり、野菜の皮むきなどを実施し給食に取り入れれたり、野菜等に直接ふれる機会を設けています。また、プランターを利用して夏野菜の栽培をしています。育った野菜を収穫したり、野菜を利用して野菜スタンプにしたり、野菜の切り口の園本を食材への興味が育まれるようには努めています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
------------------------------------	--	---------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

「保健年間計画」を基に、子どもが自分の健康や安全に関心を持つよう援助しています

年間の保健活動・それに伴う留意点・評価、反省を一覧とした年間の保健計画を作成し、子ども自身も健康や安全について関心を持ち、自分でも健康な体を意識できるように職員は支援しています。子どもたちには、自分の健康や安全に関心を持つことの大切さを伝え、日々の保育のなかで援助しています。保育室の手洗い場に手洗いの順序、仕方のポスターを掲示し、子どもたちが理解して行動するようになっています。安全面においては、災害発生時の身の守り方、園内外での事故への注意などについてわかりやすく説明しています。

子どもの健康や発達等については、園医及び専門機関と連携し適切に対応しています

子どものアレルギー、既往所等に関しては医療機関と連携を図っています。熱性けいれんやアレルギーによるアナフィラキシーショックの心配がある子どもについては、保護者に与薬願い届けの提出をお願いし、薬を預かっています。その他、医療的な配慮が必要な場合は、保護者と対応方法を話し合い連携して取り組むこととしています。職員は、健康面で配慮が必要な子どもの保育について、昼礼や毎月の職員会議で周知をしています。他園起こった事故事例など参考に発生防止に努めています。

「保健だより」「健康のしおり」を通じて、子どもの健康に関する情報を提供しています

子どもの健康に関する情報は、「保健だより」を通じて保護者に提供して、子どもの睡眠や早起き、流行している感染症の予防法、生活リズムなどに関する記事を掲載し、家庭での健康管理における協力を促しています。感染症が園内で発生した場合は、状況を掲示して、保護者にも注意喚起を促しています。登園時の子どもの体調などの情報は「毎日メモ」に記載し、職員で周知して、子どもの体調に注意しています。乳幼児突然死症候群防止の為に、0歳児は午睡センサーを使用し5分おき、1、2歳児は10分おきに呼吸をチェックしています。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者が安心して園に子どもを預けられるように支援しています

入園時に保護者の就労状況を聞き取り職員間で情報を共有して、保護者の就労状況に配慮しています。日常の会話や連絡帳などから、子どもや保護者の状況を把握して、急な、申し込み時間が過ぎた延長保育や土曜保育についても、緊急の場合は子どもの補食を用意するなどできるだけ対応しています。また、保護者の心身の状況に配慮し、求職活動、リフレッシュタイム、冠婚葬祭、急な用事、保護者・家族の入院、通院、介護などに対応する一時保育も実施して、保護者の就労を支援して安心して園に子どもを預けられるように支援しています。

子どもの園の様子は、クラスノート・園だよりを通じて信頼関係を構築しています

日々の子どもの様子は、送迎時の会話や連絡帳で伝え、クラスごとに毎日の活動の様子を、写真を利用したファイルに収めて保護者に、子どもの活動の様子、表情をよりつたわりやすくしています。また、園だよりにはクラスだよりとして各クラスのねらいと、クラスの子どもの様子を掲載しています。さらに、年5回保育の様子がわかる動画を配信し、ホームページからは保護者専用アクセスできるアルバムのページがあります。職員は、保護者とのコミュニケーションを大切に、話しやすい雰囲気になるように心がけ信頼関係の構築に努めています。

集団の中で子ども成長を見てもらえるように保育士体験を実施しています

園では、写真、動画での子どもの様子を伝えるだけでなく、一日保育士体験を保護者に紹介しています。子どもたちと一緒に散歩したり、給食を食べたり、子どもたちに絵本を読んであげるなどして、子どもとのふれあいの中で、自身の子どものクラスの中、集団の中での子どもの職員との関わり方、他のお友達とのコミュニケーションの取り方などを保育士目線で見て、園と子どもの育ちを共有することを目的としています。その中で、保護者が気になることがあれば面談を実施して、園との対応について共有できるようにしています(今年度は中止)。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

地域との交流を通じて子どもたちの体験の幅が広がるように支援しています

コロナ禍で、十分な交流が難しい部分もありましたが、以前は園行事にデイサービス利用の高齢者をお招きしていましたが現在は直接の交流が行われていません。しかし、高齢者施設にはクリスマスの時にいただいた手作りおもちゃのプレゼントのお礼の手紙を渡し、窓越しですが高齢者との交流がありました。また、近隣の農家の協力でさつまいも、じゃがいも、大根の収穫体験をしたり、蚕の餌となる桑の葉や七夕の時の笹の提供をしていただいています。日々の散歩では、近隣の方との挨拶を通じて、子どもたちの社会的経験を広げています。

子育て支援事業を広く展開し、地域に保育の専門性を提供しています

園はマイ保育園事業に参加し、こそだてひろばの地域支援などの取り組みを実施しています。地域の方が気軽に支援室を利用できるように、支援室の前には滑り台、砂場などを設置し、夏には水遊びができるようにし、支援室の遊具は、衛生管理を徹底しベビージム・電車やレールなどだれもが楽しめるように配慮しています。また、子育て相談を実施して子どもの育ちについて保育の専門的な立場から相談を受けています。また、親子で季節の制作を楽しむなど、地域に向けて情報を提供しています。誕生会では園児と一緒に祝いをし、子どもとの交流があります。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している
タイトル①	子どもの人権に配慮した保育への共通理解に取り組んでいます	
内容①	園では、子ども一人ひとりの人権に配慮して、子どもの言動、行動は一旦肯定的に受け止めて子ども自身が受け入れてもらえるという信頼関係を気づいた上で必要な事を伝える事を重視しています。信頼関係が気付かれている一方で親しみと慣れが混同してしまい、子どもの名前を呼びに捨てにしたり、子どものためを思っている注意であっても、こどもが受け止められない対応をしている場合も見られるので、不適切な保育といわれる対応になっていないか、学び合う機会を設けるなどして共通理解に取り組んで行けるようにしています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル②	地域支援に力を入れ、保育の専門性を地域に提供しています	
内容②	こそだてひろばの地域支援を実施して、地域の人が気軽に支援室を利用できるように滑り台、砂場などを設置しています。支援室の遊具は、衛生管理を徹底しベビージム・電車やレールなどだれもが楽しめるように配慮しています。また、子育て相談を実施して子どもの育ちについて保育の専門的な立場から相談を受けています。また、親子で季節の制作を楽しむなど、地域に向けて情報を提供しています。誕生会では園児と一緒に祝いをし、子どもとの交流があります。園では、マイ保育園に参加し、地域に保育の専門性を提供し子育て世代の支援に努めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル③	職員の目標や研修希望などのニーズを把握し、能力と資質の向上を図っています	
内容③	職員一人ひとりの質向上に向けて、目標共有シートに基づくキャリアプランを描き、年3回および必要に応じた面談を通じて、課題解決や成長目標、研修希望など、能力向上のニーズを確認し、組織的な人材育成に取り組んでいます。園内研修では、自己課題を明確化し、職員自らが企画し「保育の向上について」をテーマに設定し学び合い、能力と資質の向上を図っています。さらに、プロジェクトチームでは、発達やマニュアルについてなど、園全体の課題を検討し、目標達成に向けた計画的な取り組みがなされ、組織力の向上に努めています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの主体が活かせるように職員は支援をしています
	内容	園では、子どもたちが意欲を持って取り組めるように、日々の保育活動の中で子どもが好きなもの、得意なものを取り入れています。また、その意欲を継続できるように職員が保育計画を作成して環境を整えています。乳児がこれは何だろうと感じられるような探索活動で指差しをしたときには、職員も一緒に言葉として対応し、子ども自身が認められた自己肯定感を持てるように対応して信頼関係を築いています。そして、自分で～がしてみたという気持ちを職員に伝えられるようにして、子どもの主体性が育まれるように支援をしています。
2	タイトル	卒園しても、子どもの育ちの支援の継続をしています
	内容	園では卒園児(4～6年生対象)が、保育士の手伝いをするちびっこ先生(保育士体験)を実施しています。この取り組みの目的は保育士のお手伝いをすることで、子ども自身が自分の成長を感じてもらう事を目的としています。子どもたちにとっても、自分が園で経験したことをと在園児にしてあげたり、また在園児は自分が大きくなったという憧れの気持ちも芽生えています。さらに、子どもが「自分を受け頼れる場所」があることを感じ、卒園後も見守られ、認められていることで、自己肯定感や自己有用感が感じられるように支援をしています。
3	タイトル	人材の育成について、自らが自己課題や研究テーマを決めて主体的に学んでおり、職員の能力と組織力の向上が図られています
	内容	人材の育成については、保育士等キャリアアップ研修計画等が作成され、法人や園内、園外等の研修に参加しています。研修参加後は、報告書の提出により職員の能力向上と成果の確認がなされています。また、職員が主体的に学ぶ姿勢を持ち、目標共有シートにより自己課題や研究テーマを決め、一年間の取り組みを2016年から、継続的な取り組みとしてはじめています。さらに、2017年からは自らの研究成果を発表形式で報告しています。他の職員と共有することで双方の学びとなり、職員の能力と組織力の向上が図られています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	事業継続計画の確認・向上を図り、大規模災害発生後の取り組みを職員や利用者等に周知していくことが期待されます
	内容	園運営におけるリスクに対して、事故対応・防災対応・感染症・不審者対応等のマニュアル整備や避難訓練の実施等に取り組んでいます。大規模災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えた事業継続計画(BCP)は、町田市を中心に作成を進め、整備がなされています。また、事業継続計画に基づき、防災対応マニュアルを整備し、日常の保育における具体的な実践への検討が進められています。今後はさらに、事業継続計画の確認・向上を図り、大規模災害発生後の業務の復旧・再開に向けた取り組みを職員や利用者等に周知していくことが期待されます。
2	タイトル	保護者からの連絡漏れがないように、今後もさらに、日々意識の継続に努めていくことが期待されます
	内容	子どもにかかわる情報は、各会議、屋礼などを通じて共有しています。土曜保育、延長保育においても、子ども一人ひとりへの適切な対応ができるように体制を整えています。受け入れ時の状況はクラスごとの「毎日メモ」に記載され、前日からの確認引継ぎ内容の確認、その日の受け入れ時の保護者からの伝言等を記載しています。職員間で情報が共有できるように努めていますが、メモの内容が具体的にない場合は正確な伝言につながらず伝達ミスになることがあることから、具体的に記載する事の徹底に努めており、今後も継続的な取り組みが期待されます。
3	タイトル	一時保育予約システムを導入し、利便性を高める計画の継続が望まれます
	内容	園では、保護者の就労支援の一つとして月～金8:30～16:30一時保育を実施しています。現在の予約方法は、電話で毎月15日の12:30までに翌月の予約を受け付け、先着順ではなく、平等に利用してもらえるように、調整して15日に利用日が決まり、それ以降は、随時受付をする方法になっています。利用希望者にとっては電話のタイミングなどもあり、利便性を考えて予約のシステムの導入が検討されていることから、今後はさらに、計画の継続が望まれます。